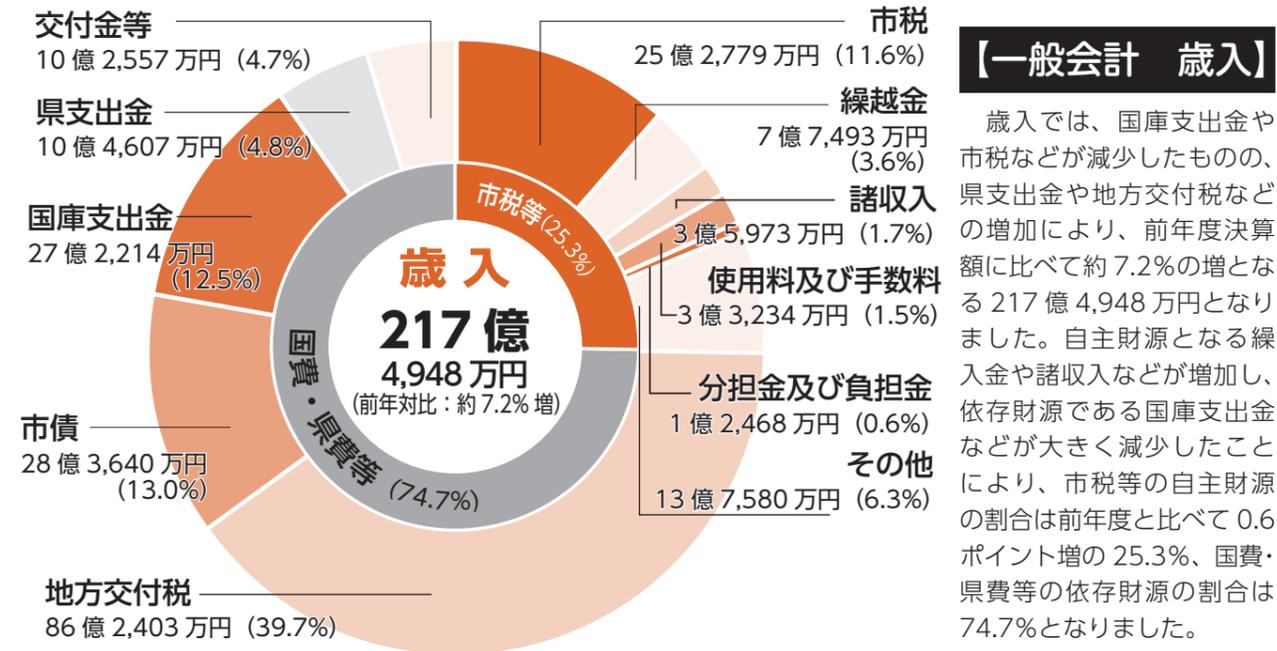


# 令和5年度

## 宇陀市の決算と財政状況報告

問 財政課 (☎ 82・1305 / IP ☎ 88・9071)

令和5年度の宇陀市の決算がまとまり、9月の議会定例会で承認されました。皆さんから納めていただいた税金や負担金、国県からの補助金などの収入がどの程度で、どのように使われたのかをお知らせします。

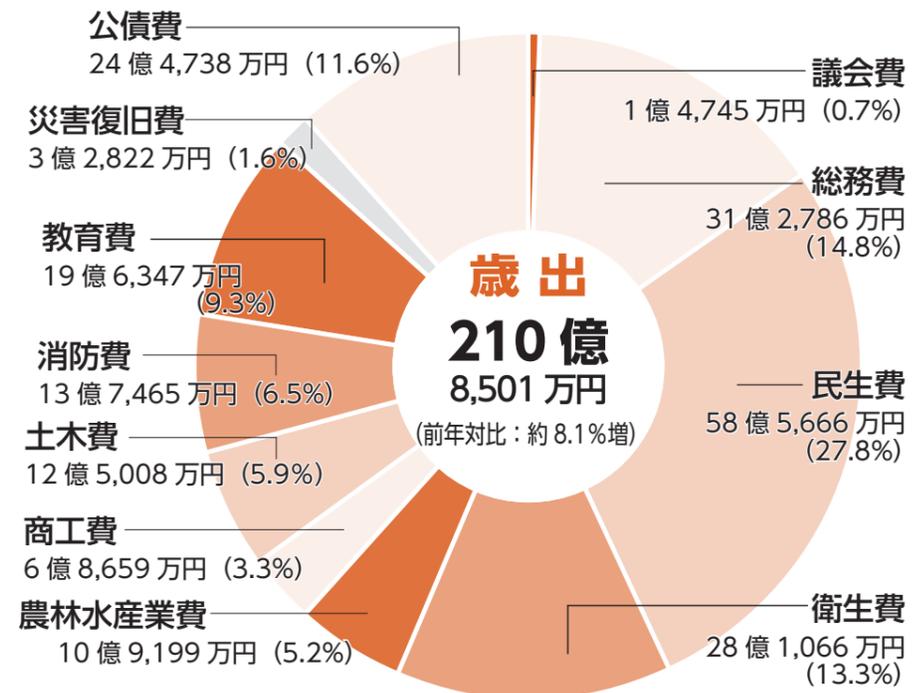


### 【一般会計 歳入】

歳入では、国庫支出金や市税などが減少したものの、県支出金や地方交付税などの増加により、前年度決算額に比べて約7.2%の増となる217億4,948万円となりました。自主財源となる繰入金や諸収入などが増加し、依存財源である国庫支出金などが大きく減少したことにより、市税等の自主財源の割合は前年度と比べて0.6ポイント増の25.3%、国費・県費等の依存財源の割合は74.7%となりました。

### 【一般会計 歳出】

歳出では、公債費などが減少したものの、人件費や物件費などが増加したことにより、前年度決算額に比べて8.1%の増となる210億8,501万円となりました。その結果、差し引き6億6,447万円の黒字となり、令和6年度予算へ繰り越しました。



会計名	歳入	歳出	差引額
住宅新築資金等貸付事業	2,091万円	2億5,430万円	△2億3,339万円
霊苑事業	969万円	922万円	47万円
国民健康保険事業 (事業勘定)	40億875万円	40億294万円	581万円
〃 (診療施設勘定)	6,700万円	6,485万円	215万円
介護保険事業	43億3,890万円	41億4,721万円	1億9,169万円
後期高齢者医療事業	6億3,548万円	6億3,226万円	322万円
特別会計合計 ( ) は前年度決算額	90億8,073万円 (92億7,552万円)	91億1,078万円 (92億4,944万円)	△3,005万円 (2,608万円)

公営企業は、民間企業のように利用料金等を財源に、公共の利益を目的に経営する事業で、市では次の**5つの公営企業会計**を運営しています。

### 水道事業

令和5年度の給水件数は10,716件で、年間有収水量は2,285,625m<sup>3</sup>でした。水道未普及地域解消事業として、2地区において工事を行い、一部建設用地の取得も行いました。また、収支差引は1,877万円の黒字決算となりました。

収益 10億4,551万円		費用 10億2,674万円	
営業収益	5億6,731万円	営業費用	9億8,473万円
給水収益	5億6,703万円	給与費	8,369万円
その他	28万円	県水受水費	1億8,330万円
営業外収益	4億7,818万円	減価償却費	5億3,372万円
特別利益	2万円	その他	1億8,402万円
		営業外費用	4,200万円
		特別損失	1万円

### 美榛苑事業

平成22年10月1日より指定管理者による経営に移行し、令和5年度中も指定管理による経営となりました。また、収支差引は指定管理者からの納付金と一般会計からの補助金を受けましたが、2,526万円の赤字決算となりました。

収益 2,345万円		費用 4,871万円	
営業外収益	2,345万円	営業費用	4,655万円
一般会計補助金	46万円	美榛苑経営費	7万円
指定管理者納付金	2,000万円	減価償却費	4,173万円
雑収益等	299万円	資産減耗費	475万円
		営業外費用	216万円
		支払利息等	36万円
		雑支出	180万円

### 市立病院事業

令和5年度の入院患者数は、延べ41,074人(1日平均112人)、外来患者数は延べ95,759人(1日平均394人)でした。また、収支差引は3億5,220万円の赤字決算となりました。

収益 37億1,025万円		費用 40億6,245万円	
医業収益	30億2,800万円	医業費用	38億8,752万円
入院収益	18億266万円	給与費	23億3,037万円
外来収益	10億7,450万円	材料費	4億8,059万円
その他	1億5,084万円	経費	7億3,777万円
医業外収益	6億8,225万円	減価償却費	3億2,590万円
		資産減耗費	578万円
		研究研修費等	711万円
		医業外費用	1億7,388万円
		特別損失	105万円

### 介護老人保健施設事業

令和5年度の入所者数(短期入所者を含む)は延べ25,727人(1日平均70.3人)、通所者数は延べ2,963人(1日平均11.6人)となりました。また、収支差引は8,071万円の赤字決算となりました。

収益 4億172万円		費用 4億8,243万円	
事業収益	3億8,090万円	事業費用	4億6,392万円
介護報酬収益	3億2,271万円	給与費	3億1,626万円
施設利用料収益	5,768万円	材料費	3,234万円
その他	51万円	経費等	9,552万円
事業外収益	2,082万円	減価償却費	1,979万円
		資産減耗費	1万円
		事業外費用	1,827万円
		特別損失	24万円

### 下水道事業

令和5年度の年間有収水量は1,660,996m<sup>3</sup>でした。建設改良事業として榛原第一中継ポンプ場ポンプ更新工事を行い、また、下水道ストックマネジメント計画に基づき、榛原天満台地区管渠更生工事およびマンホール蓋更新工事を行いました。また、収支差引は488万円の黒字決算となりました。

収益 7億5,980万円		費用 7億5,492万円	
営業収益	2億4,714万円	営業費用	7億964万円
下水道使用料	2億1,450万円	給与費	2,231万円
その他	3,264万円	維持管理経費	1億8,177万円
営業外収益	5億1,266万円	減価償却費	4億8,635万円
		その他	1,921万円
		営業外費用	4,526万円
		特別損失	2万円

### 特別会計

特定の事業を行う場合、また特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理するため、条例により設置している会計です。住宅新築資金等貸付事業を除く会計は黒字でした。

特集

市政TOPICS

うだちから

まちのわだい

みんな子育て

病院・あんしん

お知らせ

掲示板

うだちゃん

# 宇陀市の家計の状況は？



## 宇陀市のR5年度財政状況

- 収支では、①②③が主なポイントとなります。
- ① 経常的な収入（例えば、給料）で経常的な支出（例えば、生活費）がまかなえているか？
  - ② 会計が赤字になっていないか？
  - ③ 借入（例えば、毎年のローン返済や残高）が多すぎないか？
- 【Ⅰ 経常収支比率・財政力指数】  
【Ⅱ 実質赤字比率・連結実質赤字比率】  
【Ⅲ 実質公債費比率・将来負担比率】

### Ⅰ 経常収支比率 努力

▼ 財政にゆとりがあり、様々な状況に柔軟に対応できるか？

**R5年度 95.4%**  
(R4年度類似団体平均 92.3%)

市税、普通交付税など経常的な収入のうち、人件費や物件費、扶助費、公債費等の行政サービスを維持するために通常必要な経費へ充てた割合を示します。この比率が高くなるほど、公共施設の整備など投資的な経費に充てるお金が少なくなり、財政にゆとりがなくなります。令和5年度は、収入では地方交付税が増加したものの、地方税や臨時財政対策債の減少による影響が大きく、支出においては人件費や物件費などが増加したことから昨年度に比べて0.8ポイント上昇しました。

### Ⅱ 財政力指数 努力

▼ 自主的な収入だけで、どれだけ賄えるか？

**R5年度 0.28**  
(R4年度類似団体平均 0.38)

市の人口や面積、税収などに応じ、国が定めた方法で計算した、その市の基準的な収入と支出のバランスを表した、市の財政の体力を示す指標です。数字が大きいにほど財源にゆとりがあり、1に近づくと自主財源で運営できていることとなります。市では、ここ数年、ほぼ横ばいで推移しています。

### Ⅲ 財政調整基金 改善

▼ 急な事態等に備える基金（貯金）はあるか？

**R5年度 18.4%**  
(10%程度が望ましい)

予期しない収入減や不時の支出増加に備える財政調整基金の残高が市の標準的な財政規模（市の標準的な一般財源の収入額）に対してどの程度の比率を保有しているかを示す割合です。

#### 宇陀市の市債残高はどれくらい？

**合計 319億 4,589万円**

前年度より約2億円減少！

主な内訳

- ▶ 一般会計……234億 273万円
- ▶ 下水道事業… 31億 3,341万円
- ▶ 水道事業…… 28億 4,612万円
- ▶ 市立病院事業…22億 1,138万円
- ▶ 介護老人保健施設事業…… 3億 5,031万円

#### 標準財政規模とは…

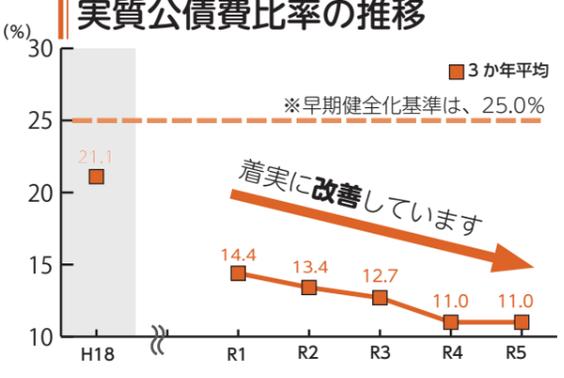
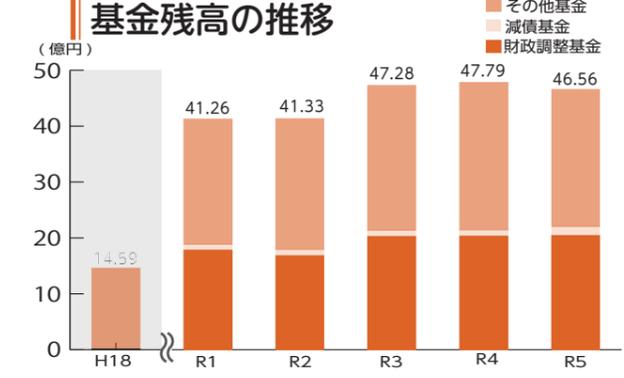
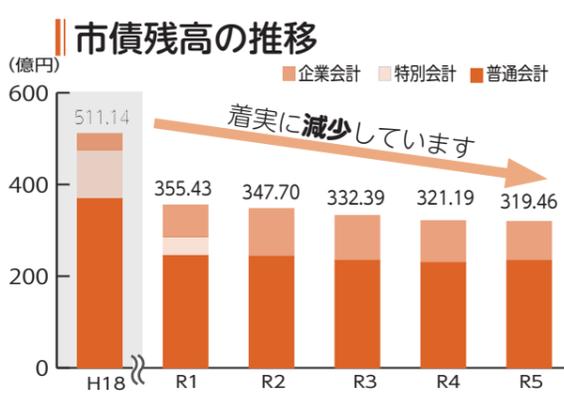
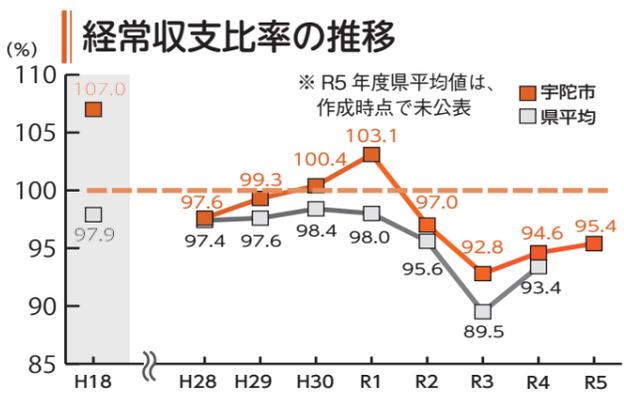
市が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模のこと

令和5年度は、財政規模が拡大したものの、基金残高も増えたため、前年度に比べて0.1ポイント増加しました。

### Ⅳ 財政健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、市の財政健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。財政健全化判断比率とは、住民に向けて財政状況を公表するために設定された全国統一の指標で、市議会への報告も義務付けられており、指標の内容によっては財政上の制約や健全化計画を策定、実行する必要があります。各指標の「早期健全化基準」、「財政再生基準」については、いずれの数値についても、より小さいほうが財政的に良好と言えます。「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」については、黒字の場合は「▲」で表示されます。公営企業については、「資金不足」が生じていないことが最良です。

種類	指標名	指標の概要	令和5年度の宇陀市の決算数値 ※宇陀市における早期健全化基準（イエローカード）・財政再生基準（レッドカード）
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計、特別会計（住宅新築資金等貸付事業・霊苑事業）の赤字額の比率	▲ 3.59% 【黒字】 (対前年度比 0.61ポイント減少) ※ (イエローカード) 13.17%、(レッドカード) 20.0%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の赤字額の比率	▲ 24.15% 【黒字】 (黒字額は、対前年度比 5.55ポイント減少) ※ (イエローカード) 18.17%、(レッドカード) 30.0%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する当該年度の借入金（借金）の返済額等の比率で3か年平均	11.0%で健全化基準をクリア (対前年度比±0ポイント) ※ (イエローカード) 25.0%、(レッドカード) 35.0%
	将来負担比率	標準財政規模に対する負担すべき将来の債務（全会計・一部事務組合の負担義務のある残債、土地開発公社の債務保証、負担義務のある職員退職金等）の比率	79.9%で健全化基準をクリア (対前年度比 4.3ポイント改善) ※ (イエローカード) 350.0%
公営企業	資金不足比率	各会計における事業の規模に対する資金の不足額の比率	■ 介護老人保健施設事業会計 ▲ 15.8% ※ (イエローカード) 20.0% ※ 令和5年度において、60,436千円の資金不足が生じました。令和4年度に策定した新経営戦略に基づき、経営健全化に努めています。 ■ その他の下水道事業、保養センター事業、市立病院事業、水道事業会計については、資金不足は生じていません。



# 令和5年度に取り組んだ主な事業

## 新学校給食センター建設事業 (令和5年度実施分)



子どもたちが健やかに成長できるように安全で安心な学校給食を提供するため、老朽化している学校給食センターの建替えを行いました。今年6月末に完成し、9月2学期より給食の提供が始まっています。

## ジビエ利用活用プロジェクト



農林業被害対策の一環として捕獲されたシカ・イノシシの利活用を図るため、衛生管理等の指針に沿った食肉処理を行い良質なジビエを生産する施設の整備を行いました。

## 大和信用金庫旧榛原支店サテライトオフィス整備事業



地域経済の活性化および高度な情報通信技術の活用による新たな起業・就労機会の拡大を図り、市内への移住促進に資することを目的とする施設の整備を行いました。

## 宇賀志防災拠点施設整備事業



消防団組織再編計画に基づき、消防機庫の統合による整備を行うとともに、地域の防災コミュニティの拠点となる施設の整備を行いました。

## 物価高騰対策関連事業



エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者等への支援のため、地方創生臨時交付金を活用し市独自の取り組みとして次の事業を行いました。

### ① 生活支援ウッピー商品券配布事業

決算額 1億 4,910万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民に対してウッピー商品券(市民一人あたり5,000円)を配布し、生活支援を行いました。

### ② 賄材料高騰対策事業 (小学校・中学校)

決算額 277万円

学校給食における賄材料費が上昇する中、引き続き児童生徒に安全で安心な給食提供を維持するため、賄材料費の一部を支援しました。



# 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社と「DX推進に関する連携協定」を締結

9月30日、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社と市は、市民の方々に「選ばれ続けるまち」の実現を目指し、デジタル技術を活用して行政ならびに地域の課題解決や市民サービスの向上に取り組みの促進を図ることを目的として「DX推進に関する連携協定」を締結しました。

この協定に基づき、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(以下:CTC)と市は、CTCのふるさと共創イニシアティブ「CLOOV(クローブ)」を活用して、市における行政や地域の課題解決につながるDXを相互に連携して推進していきます。地域での人手不足の対応や地域交通の最適化、観光客の体験価値の向上などの様々な課題に対応する施策を共に検討していきたいと考えています。



- DX推進室 (☎82・3912 / IP☎88・9083)
- 連携項目
- ・住民の利便性向上のためのDX推進に係ること
  - ・市の地方創生のためのDXに関する課題および解決方法に関すること
  - ・DX人材の育成に関すること
  - ・地域課題解決等に関する実証実験に係ること
  - ・その他「選ばれ続けるまち」の実現を達成するために必要な事項

# 宇陀市合同企業面接会開催

9月27日、宇陀商工会館2階にて宇陀商工会・ハローワーク桜井と連携し、宇陀で就職を希望する方への「宇陀市合同企業面接会」を開催しました。

この面接会は市内の複数の企業と求職者が一堂に会することで効率的に双方のニーズをマッチングさせ、雇用の創出と地域経済の活性化を目的として開催し、宇陀市で仕事をお探しの方や市内の企業に興味のある方々が参加されました。当日は互いに熱心にお話しされ、盛況に終わりました。

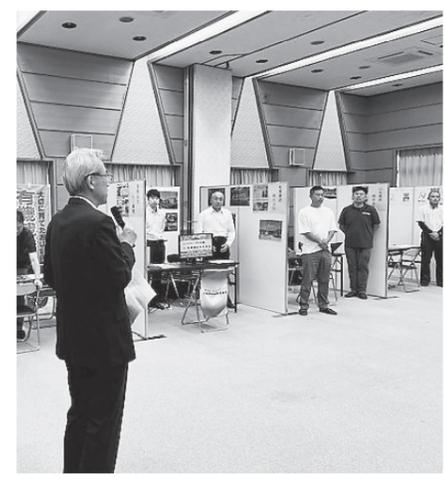


▲面接の様子

問 商工業課 (☎82・5874 / IP☎88・9075)

## ■面接会参加企業

- ・有限会社山口農園
- ・松塚建設株式会社
- ・山本建設株式会社
- ・株式会社池田工業社
- ・株式会社橋本工務店
- ・株式会社ファーマーズ・フォレスト
- ・株式会社キョウエイアドインターナショナル
- ・株式会社ニチイ学館ニチイケアセンター
- ・野村興産株式会社 ヤマト環境センター
- ・有限会社東和技研工業



3S Triple Slogan

## さんとぴあ榛原からのお知らせ

問 さんとぴあ榛原 (☎85・2525 / IP☎88・9095)

〜ヒートショックという言葉をご存じでしょうか〜

急激な温度差による健康被害に使用されます。11月に入り、一段と朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。冬場は暖房器具を付けた部屋で身体を冷やさないよう気を付けますが、トイレや台所、玄関等、他の部屋に移動した時、急激な温度差により血圧が変動し、心筋梗塞や脳梗塞、めまいといった健康被害が起こりやすくなります。このような状態をヒートショックと呼ばれています。

特に空気が冷え込む朝方のトイレや夜の入浴後などに移動する時は温度差が心配です。居室ごとの温度差をなるべく少なくすることが必要です。

暖房器具を使った部屋で長時間過ごしていると、冬場でも脱水症状を引き起こすリスクが高まります。脱水は脳梗塞や心筋梗塞の引き金にもなり得るため、特に注意が必要です。冬場でも、のどの渇きを感じる前に、コップ一杯の水を飲むようにしましょう。温かい白湯がおすすめです。

【当施設サービスの特徴】  
当施設では、入所、ショートステイ、デイケアの介護保険サービスを提供しています。

○入所  
看護師や介護スタッフが24時間体制で、食事、排せつ、入浴など、日常生活の介助、健康管理をサポートします。

○ショートステイ  
一時的にご自宅でのお世話が難しいときに、施設で生活いただけます。「もつひとつの家」としてご利用ください。

○デイケア  
在宅生活を続けるのに必要な身体の機能を保つため、通いで一人ひとりに合わせたリハビリを提供します。(送迎有り)

広報うだがスマホでいつでも見られる

マチイロ マチを好きになるアプリ

App Store からダウンロード

ANDROID アプリ Google play

## 七五三

数詞【七】【五】【三】を右手で上から順に示す

朝晩冷え込み、紅葉も見ごろを迎えています。深まりゆく秋を、存分に楽しみましょう。

## 手話への扉

第52回

柿 口にに向けて折り曲げた右手5指を下へおろす(柿をかじって食べる様子)

どんぐり 両手の指文字「ホ」形の指先と手首をつけ合わせ、左右に振る

きのこ 丸めた左手手の平の下に、5指をつまんだ右手指先をあてる

もみじ 広げた左手の指にそって、右手親指と人差し指で2回つまむしぐさをする